

校訓	真善美	令和5年度 学校通信	発行日	令和5年4月19日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 -感謝する心、確かな学力、健やかな心を育てる-	「荒中だより」 4月 卯月 第4号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【 令和5年度 前期 認証式 】

昨日、今年度前期の生徒会本部役員と学級役員のみなさんの認証式を行いました。2、3年生は、進級したばかりで新しいクラスの仲間の様子がよくわからない中で、1年生は入学して2日後ですから中学校生活になじむまもなく、学級役員選挙がありました。中学校では、小学校の時のように、教室には担任の先生が1日おりません。自分たちの過ごす場所は、自分たちで安全安心な居場所にしなければならないからです。勇気を出して自分の力を学級のために、学校のために発揮しようと挑戦してくれたことに心から敬意を表します。生徒会本務役員や専門委員会の人には、名札に付ける委員バッジも配布されますが、バッジを付ける意味を考え、やると決めたことに、自覚と責任をもってやりきれよう頑張ってください。かかげたマニフェストを実践できるよう、リーダー性をフルに発揮し、試行錯誤して取り組んでください。一生懸命取り組んでいるうちに、立場が人を成長させます。ただ、こんな荒中にしたい、こんなクラスにしたいという公約を実現するためには、本部役員や委員だけが頑張って実現できるものではありません。各委員が中心となって、生徒会組織の中で機能していくようにするためには、選んだみなさんが、協力しなければなりません。みなさんの心と知恵、力をあわせて、リーダーをしっかりと支え、ひとつになって、よりより学校生活を創っていけるようお願いします。荒牧中学校の学校教育目標は、**自ら考え行動し、未来を創造できる生徒の育成**です。誰かのせいにして、文句や不平不満を言うのではなく、いかにしてよくしていくか、どうすればできるようになるか、一人ひとりが自分事としてとらえ、前向きで、ポジティブな意見や提案ができるよう、自ら考え、行動してください。最後になりましたが、各クラスで全員が何かの係や教科リーダーとしての役割があると思います。まずは、自分の仕事に責任をもって取り組んでください。618名が笑顔で気持ちよく、居心地よく過ごせる学校にするためには、みなさんひとりひとりの力が必要なのです。よろしくをお願いします